

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.80

WINTER
2021



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

わたしに従いなさい (ヨハネの福音書21章19節、22節)

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表 工藤 篤子



昨年12月のデポーション日記を読み直してみると、「主を証しせよ」「みことばを証しせよ」「賛美とは、神の栄光を現すこと。自分の技を見せることではない」「神の栄光を現すために、みことばに聞け、みことばの法則、神の法則に従え」といった主からの語りかけがありました。

そして大晦日、2021年の指標を求めると、示されたのは、ヨハネ21章から、「わたし(イエス様)に従いなさい」でした。

イエス様を3度知らないと言ったペテロは、復活した主に、3度「わたしを愛しますか?」と尋ねられました。3回の問答の後、主は、「わたしに従いなさい」とお命じになり、今度は、ペテロがどのような死に方で神の栄光を現すかを示されます。その時、思わずヨハネを振り向き見て、「この人はどうなのですか?」と問うペテロに、「わたしの来るまで彼が生きながらえるのをわたしが望むとしても、それがあなたに何の関わりがあるのか」と言い、もう一度、「あなたはわたしに従いなさい」と語られました。

後に教会の基礎を築くリーダーとなるペテロに、主が2度も念を押して語り残したのは、「わたしに従いなさい」でした。それも、主に従うとは「いのちをささげる」ことであることを、殉教の予告を通して、はっきりと示されたのです。イエス様を3度も否定したペテロを整えるために、3度「わたしを愛するか」と問い、その度「わたしの羊を飼いなさい」と神の働き人として任命し、その上で、彼に「主に従う」意味をしっかりと教えられたのだと思います。

1987年にすべてを捨ててドイツに開拓伝道に行った頃、よく「伝道とはいのちをささげること」と言っていました。今思えば、厳肅なこの言葉を、何と軽々しく語っていたことだろうかと思えます。

イエス様は、神の在り方を捨てることができないとは考えず、ご自分を空しくして、人間と同じようになられました。人間と同じようになられたということは、私たちと全く同じ肉の弱さ、肉の欲、肉の思いを持って生まれたということです。しかし、その肉には従わず、絶えず聖霊の導きと御父の声に従い、サタン誘惑に打ち勝ち、十字架の死にまでも忠実に従われました。

私たち信仰者にとって、「いのちをささげる」とは、イエス様が生きたように生きることなのだと思います。そのためにイエス様は十字架にかけられ、私たちを肉の弱さから解放し、罪と敵の力から贖い出してくださいました。ヘブル5:7では、「キリストは、その肉の生活の時には、激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のあるかたに、祈と願いとをささげ、そして、その深い信仰のゆえに聞きいれられた」(口語訳)、とあります。キリストの勝利を得、神の栄光を現す者となるために、私たちは、まず、この、涙をもってささげた主の激しい叫び声を聞かなければならないのではないのでしょうか。そして今、大祭司として、私たちのために、天で父なる神にとりなして下さっている主に感謝し、イエス様が私たちのためにいのちをささげられたように、私たちもいのちをささげてイエス様に従い、このイエス様を宣べ伝え、永遠の御国をめざして歩いて行きたいと思うのです。

神はひとり子を

●葉由美さんと「神はひとり子を」

私は1984年に留学先のスペインで信仰に導かれ、1987年にドイツに開拓伝道に向かう宣教師夫妻に同行しました。行き先は北ドイツの美しい街ハンブルク。目的は、キリストの弟子を育て、みことばに忠実に歩むドイツ人教会を建て上げることでした。その翌年、日本人宣教のために祈っていたコニツァー夫妻との出会いをきっかけに、日本人伝道の働きにも協力するようになりました。

カフェ・ウント・クーヘン(コーヒーとケーキ)の個人伝道から始まった集会には、徐々に聖書を学んでみたいという日本人が集められるようになりました。1991年には「ハンブルク日本人教会」(現・ハンブルグ日本語福音キリスト教会、以降ハンブルクJCFと表記)が発足。1993年、当地の音大で声楽を学んでいた長田葉由美さんが洗礼を受けました。教会初の受洗者であった葉由美さんは、その後日本に帰国し、化学者の井野さんと結婚しました。実は、井野さんは、その時すでに重い癌を患っていました。その病が発覚したのは結婚式の一か月前のことです。しかし二人は、主が導いておられることを確信し、多くの人々の祝福を受けて結婚しました。当初は大変な闘病生活が待っていると思ったそうですが、二人を見守る兄妹の祈りに囲まれ、祝福に満ちた、とても幸せな日々だったそうです。一年半後、医師から「血液検査の結果が悪いので、今日明日何があってもおかしくありません」と告げられた時、ご主人は、「そんなに悪いとは思っていませんでした。でも僕は天国に行くから楽しみです」と、ニコニコして答えたそうです。その笑顔は内側から輝き出たものでした。その翌日、井野さんは安らかに天国に旅立ちました。葉由美さんは、その後、宣教の働きに導かれました。聖書学校で学び、2006年にハンブルクJCFの宣教師として遣わされ、現在に至っています。

葉由美さんとは、ハンブルクや日本で何度か一緒に賛美コンサートをしたことがありました。ご主人が召された翌年の2000年、日本でのジョイント・コンサートでは、葉由美さんは、ソロ賛美の一曲に、「神はひとり子を」を選びました。私は、その賛美に深い感動を覚えました。

神はひとり子を

1～3番 三谷種吉、4番 中田羽後

1. 神はひとり子を たもうほどに
世人を愛したもう 神は愛なり

(コーラス)

ああ神は愛なり けがれはてし
われさえ愛したもう 神は愛なり

2. 罪をばおかして 神にそむき
敵とうわれさえ なお愛したもう

3. 罪ゆるさんために われにかわり
イエスキミ十字架に 死にたまえり

4. いざとく来りて 神の愛に
なが身をゆだねよ 救わるべし



このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター
テナント募集**



7F19坪 5F30坪 地下鉄北浜駅
②号出口正面

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

オフィス家具全般

(有)吉屋

〒558-0014
大阪府大阪市
住吉区我孫子5-4-13
TEL 06-6699-2415

ミクニカイ株式会社
水とエネルギー

本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL(06)6394-0671
FAX(06)6394-0710
E-mail:sakamotot@mikunikai.com
URL:http://www.mikunikai.com

atelier
phos
DESIGN<=>WORK



教会や少人数グループでの
イスラエルツアーを
計画しませんか

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをさせていただきます。
お気軽にご相談ください。

**(株)ホーリーランド
ツーリストセンター**

担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:office@htcjr.com

お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討くださる教会・団体がありましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。



賛美者の中でも、葉由美さんの歌は特別です。彼女のように言葉を大切に歌う歌手はほかに知りません。一言一句、丁寧に丁寧に、心を込めて歌う彼女の賛美からは、いつも神様を感じます。特にご主人を天に送ったばかりの2000年のコンサートでは、夫の病と死を通して神の栄光を体験し、ひとり子を賜ったほどに私たちが愛してくださった神の愛に、特別な感謝と賛美をささげていた時だったのではないかと思います。そのような時に彼女が歌う、たましいが込められた「神はそのひとり子を」は、今でも私の耳に残っています。

●「神はひとり子を」の四節

「神はひとり子を」の作者、三谷種吉(1869-1945)は、日本で最初の音楽伝道者です。彼が活動していた当時の賛美歌は、神の愛や真実、善、美を、花鳥風月にたとえて奥ゆかしく表現していたものが多かったのですが、種吉の作品は、ストレートで明快、斬新、当時としては荒削りと言っていい言い回しが見られると、ご息女の三谷幸子さんは語っています。種吉は、信仰を知的に理解するよりも、直接心に訴える聖霊の働きを重んじるバックストン師の影響が大きかったので、彼の賛美歌にもそのことが反映していたようです。松江で伝道していた頃に書いた「神はひとり子を」は、ことにそうです。この曲の四節は、「かくまでゆかしき 神の愛になお感ぜぬものは人にあらじ」でした。ところが、1967年に発行された『讚美歌集第二篇』が版を重ねて行くうちに、讚美歌委員会から、



三谷種吉

「この曲は人をさばいている。傲慢の最たるものだ」という声が出、「不適切語のため削除」という注がつけられ削除されました。けれども、種吉は、人をさばくつもりなど毛頭なく、「私がこの神の愛を感じ取れないなら、人間以下である」と痛感し、その思いからこの詩を書いたのです。聖歌、教会福音讚美歌では、中田羽後の「いざとく来りて 神の愛になが身をゆだねよ 救わるべし」に差し替えられています。素晴らしい招きの歌詞です。

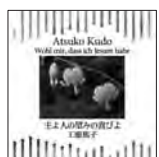
しかし、ある日、幸子さんが、音楽伝道者の今仲幸雄さんに四番の歌詞のいきさつを説明したところ、今仲さんは、以降、種吉の歌詞で歌うようになったそうです。曲は、作曲者不詳となっていますが、種吉の得意な6拍子であること、メロディーの動きからも種吉の作曲ではないかということです。

●「かくまでゆかしき 神の愛になお感ぜぬものは人にあらじ」

しかし、私は虫けらです。人間ではありません。
(詩篇 22:6)

私を、神の子、人として真実に生かすために、捕らえられ、つばきをかけられ、殴られ、鞭打たれ、さげすみ嘲られ、十字架にかけられ、人間以下の虫けらになってくださったイエス様。もしこの神の愛を感じないなら、確かに私は人間以下です。神は人を、神と交わるために、三位一体の神の愛の交わりの中に入れてくださるために、神の似姿に創造してくださったからです。神であられる方が人となり、ついには虫けらになって私たちを救い出してくださったイエス様に、今、三谷種吉の四節の思いをかみしめ、心からの感謝と賛美をささげさせていただきますと思うのです。

工藤 篤子 著書 & 賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで



主よ人の望みの喜びよ
定価 1,500円(税込)



よき力に守られて
定価 2,500円(税込)



ほんとうの願い
定価 3,000円(税込)



神だけが
定価 2,500円(税込)



カンシオン
定価 2,500円(税込)



Come To Me
定価 3,000円(税込)



讚美 Adorar
定価 1,500円(税込)



賛美のこころ
定価 1,600円(税込) (注※)



賛美セミナー II
DVD 2枚組
'15年11月7日大阪セミナー録画
定価 4,000円(税込)



賛美セミナー I
DVD 2枚組
'13年11月4日大阪セミナー録画
定価 4,000円(税込)



賛美セミナー I
CD 4枚組
'13年11月9日東京セミナー録音
定価 4,000円(税込)

賛美セミナーIIと賛美セミナーIのアイテムを合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

注※「賛美のこころ」について...AKWMの在庫は完売しました。ご希望の方は、キリスト教書店または出版社イーグレープよりお求めください。



Schedule

工藤篤子 2021年スケジュール

5月

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| 16日(日) 14:30~ | 岸和田聖書教会 ソプラノ・コンサート
「よき力に守られて」 |
| 25日(火) 10:00~ | 高松レディス・ランチョン(香川県 高松市) |

10月

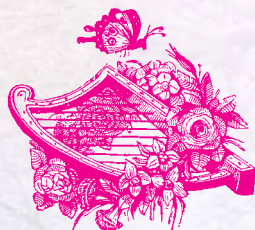
- | | |
|---------------|-------------------|
| 31日(日) 15:00~ | 宝塚栄光教会 チャペル・コンサート |
|---------------|-------------------|

12月

- | | |
|---------------|--|
| 11日(土) 14:00~ | 三公記念館設立5周年記念集会
「工藤篤子ゴスペルコンサート」(徳島県) |
|---------------|--|

愛する皆様へ

素晴らしい主の御名をほめたたえます。
お元気でいらっしゃいますか？



去年は、新型コロナウイルスの影響で、多くの賛美活動がキャンセルになりましたが、9~12月にはいくつかのコンサートや礼拝で賛美奉仕をさせていただきました。特に、10月の宝塚栄光教会での無観客・インターネット配信によるコンサートは、多くの反響をいただきました。今も、多くのアクセスが続いているようです。ある教会の婦人会では、未信者の方を招き、ビデオ・コンサートを開いてくださったとのこと。コンサートを録画配信してくださった宝塚栄光教会に感謝し、このような形で用いていただけることをとても嬉しく思っています。

昨年10月より、大阪市の大きな教会をお借りして、賛美声楽レッスンを行っています。希望される方がいらっしゃいましたら、事務局までお問い合わせください。



11月29日 チャペル・こひつじ クリスマスコンサート

今年も、感染防止に気を付けつつ、大阪の事務局と札幌の実家を往復する予定です。

昨年11月に転倒し、左目の上を打った父は、顔の内出血とたんこぶが治まるのに時間を要しましたが、ほぼもとの顔に戻りました。今年で94才になる父は、私が札幌にいない間は、ヘルパーさんと従兄の手助けを受け、明るく元気に暮らしています。グループホームに住み、知的障害者センターで働いている妹は、職場の利用者の家族に感染者が出たため、しばらくグループホームに留まっていたのですが、状況が回復し、やっと大好きな仕事に行けるようになりました。

賛美活動は、今後の新型コロナの感染状況によると思いますが、いつ奉仕の機会が与えられてもよいよう備えて行こうと思います。

AKWMは、去年のすべての必要が満たされました。祈り支えてくださった皆さまに感謝し、神の国と神の義とを求める者にはすべてを備えてくださる主をほめたたえます。今年も、AKWMの働きのために、お祈りお支えいただけますなら感謝です。

2021年、皆さまの上に、主の豊かな祝福、守り、恵み、平安がありますように！

主にありて 工藤 篤子



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

住所が変わりました

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)
普通預金0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

メールマガジン登録受付中！

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL
<http://akworship.com/>